

1. 科目名 (単位数)	世界史 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1328						
2. 授業担当教員	鈴木 康明								
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>歴史を学ぶということは過去を記憶することのみにとどまるものではない。それを踏まえ、現在をどのように生き、さらに未来をどう構築していくのかについて主体的に考えることである。つまり、現存の社会、経済、政治制度、文化、思想、技術などがどのように形成されてきたのか、それを今後どのようにしていくのかについて、総体的に捉えることが必要である。各地域の歴史、文化、民族などは共通する部分もあるが、基本的にはそれぞれが異質な存在であると考えた方がそれらに対し真摯である。世界史の授業では、様々な地域の歴史を学ぶことを通して、各地域の文化や民族の特質を理解し、多文化共生社会の実現に向けて必要となる知識や教養を身に付けることを目的とし、</p> <p>受講生の興味・関心のある課題を取り入れながら授業を進めていくことにしたい。</p>								
8. 学習目標	<p>大きな目標は4点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平和を維持するため、戦争を起こさないための強い気持と行動力を形成し、実践に活かすことができる。 2 現代にいたる歴史の概要を理解し、説明することができる。 3 それぞれの地域、文化、民族の特質を理解し、説明することができる。 4 多文化が共生するためには相互理解が必要であることを理解し、説明することができる。 								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>宿題：新聞記事を中心に世界で起きている出来事について、正確な情報を収集する。そのことについての自分の考えを整理する。</p> <p>レポート課題：自分が関心を持った世界史に関する事柄をまとめる。A4用紙、40字×40行 2枚</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 特に使用しない。事前に資料を配布する。</p> <p>【参考書】 資料を配布する。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>1. 世界史に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。</p> <p>○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート</td> <td>総合点の50%</td> </tr> <tr> <td>3 日常の学習状況</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加	総合点の30%	2 課題レポート	総合点の50%	3 日常の学習状況	総合点の20%
1 授業への積極的参加	総合点の30%								
2 課題レポート	総合点の50%								
3 日常の学習状況	総合点の20%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>ステレオタイプ、偏見が争いの源であることは社会心理学的知見から明らかである。それを避けるためには他者について正しい知識を持つことが必要であり、それは異質性に対する純粋な関心、好奇心からなる。本講義は知識の獲得とあわせ、そのような人材の育成も目指したい。そこで受講者に次の事柄の遵守を希望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 常に高い緊張感と集中力を保って受講し、自己鍛錬を怠らない。 2. 質問、発表を積極的に行い、主体性の形成に勤しむ。 3. 欠席、遅刻、早退をしないことで自己管理能力をつける。 4. 勝手な退室や、講義に関係のない振る舞い、私語、居眠り、スマートフォンの操作などに対するセルフモニタリング機能を強化する。 <p>これらは学ぶ者の基本的な学習姿勢であると同時に、多文化共生時代を生きる際にも必要な事項である。なお明らかに態度が悪いと判断された場合厳格な指導が行われる。その後も改善されない場合は全出席であってもF評価になることを理解しておく。</p> <p>また教員は次のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義の目的を明確にし、シラバスに沿って講義する。 2. 声の大きさや話し方など、受講者の聞きやすさ、わかりやすさについて配慮する。 3. 討議や演習など受講者が積極的に講義に参加できる環境を作る。 4. 受講者の質問には誠実に対応する。 5. 受講者が上記のメッセージ1～4が守らない場合、厳格に対処する。 								
13. オフィスアワー	教場で伝える。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	・古代四大文明がおこったところ ・縄文文化と弥生文化 ・卑弥呼の国 ・聖徳太子の政治	事前学習	中高の歴史教科書の該当するところを読んでおこう。						
	この時期の世界は？	事後学習	配布資料。						
第2回	ヨーロッパ世界の拡大 中世から近世へ ・キリスト教とイスラム教 ・ルネサンスと宗教改革 ・新航路の開拓	事前学習	中高の歴史教科書の該当するところを読んでおこう。						
		事後学習	配布資料。						
第3回	欧米列強の動き ・イギリスとインド イギリスと中国 ・東南アジアの植民地化 ・黒船の来航 ・明治維新	事前学習	中高の歴史教科書の該当するところを読んでおこう。						
		事後学習	配布資料。						

第4回	朝鮮半島 ・日清戦争 ・三国干渉 ・日露戦争 ・韓国併合 ・ 辛亥革命	事前学習	日清戦争、日露戦争について調べてみよう。
		事後学習	配布資料。
第5回	第一次世界大戦 ・日本の参戦 。ベルサイユ条約 ・大恐慌 ・満州事変	事前学習	第一次世界大戦について調べてみよう。
		事後学習	配布資料。
第6回	第二次世界大戦 ・ファシズム ・日中戦争 ・太平洋戦争	事前学習	日中戦争について調べてみよう。
		事後学習	配布資料。
第7回	敗戦後の日本 ・戦後の民主化	事前学習	ポツダム宣言について調べてみよう。
		事後学習	配布資料。
第8回	冷戦と平和条約 ・国連 ・冷戦 ・日米安保条約	事前学習	安保条約について調べてみよう。
		事後学習	配布資料。
第9回	戦後アジア ・第三世界 ・高度経済成長	事前学習	冷戦について調べてみよう。
		事後学習	配布資料。
第10回	現代の世界 ・冷戦の終結 日本の国際貢献 紛争とテロ	事前学習	第二次世界大戦についてまとめておこう。
		事後学習	配布資料。
第11回	映像の世紀から 第二次世界大戦	事前学習	※教場で指示。
		事後学習	感想をまとめてみよう。
第12回	映像の世紀から 冷戦後	事前学習	※教場で指示。
		事後学習	感想をまとめてみよう。
第13回	アウシュヴィッツとこどもの「いのち」	事前学習	【ホロコースト】(中公新書)を読んでおこう。
		事後学習	アウシュヴィッツ博物館、アンネ・フランクについて文献を検索する。
第14回	東京大空襲とこどもの「いのち」 沖縄戦とこどもの「いのち」	事前学習	【東京大空襲】(岩波新書)を読んでおこう。
		事後学習	東京大空襲・戦災資料センター、ひめゆり平和祈念資料館に行ってみよう。
第15回	広島・長崎とこどもの「いのち」	事前学習	【広島・長崎でなにが起こったのか】(岩波ブックレット)を読んでおこう。
		事後学習	広島平和記念資料館、長崎原爆資料館に行ってみよう。
期末試験			